

務の成績優良なる四十五名に賞與金及賞狀を授與し選獎せり。

因に本年度は従前の選獎人員二十二名を路面改善に著しく貢獻せるを以て一躍四十五名に増員せり。尙修路工夫に記念手拭を贈呈せり。

優良修路工夫に「賞牌」授與

紀州の關門北島橋完成

和歌山縣廳土木課

廣島縣に於ては道路改良會支部より寄贈に係はる「賞牌」を修路工夫選獎規程に依り三回以上選獎を受けたる左記の者に修路工夫選獎式に際し授與せり。

記

岡野光藏、田川智、山田誠作、中田久男、須田樞太郎、河内利雄、伊藤柳一郎、高橋又一。

大和歌山市の表玄関として、八十餘萬縣民待望の北望の北島橋は、漸く竣工して五月十二日、若草萌ゆる紀ノ川嶺で、盛大な渡初めの祝典が擧げられた。産業日本の心臓部大阪と新興産業都市和歌山と完全に連繋成つて、阪和交通界に一大躍進を來したわけである。

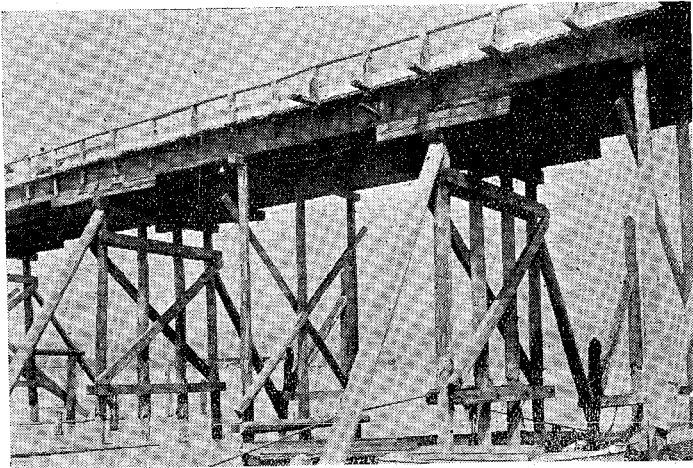
舊橋は大正七年秋に架せられたもので、既に壽命が盡き

果て、終ひ、辛ふして餘喘を保つ有様で、年々多額の維持修繕費を投じながらも逐年激増する交通量や紀ノ川の洪水に對し到底耐え得られなくなつた。従つて昭和八年七月に内務省直轄で着工されて以來は夜に日をついで工を急ぎ總工費七十餘萬圓を投じ、就勞人夫數約六萬八千餘を使役して竣工したのである。

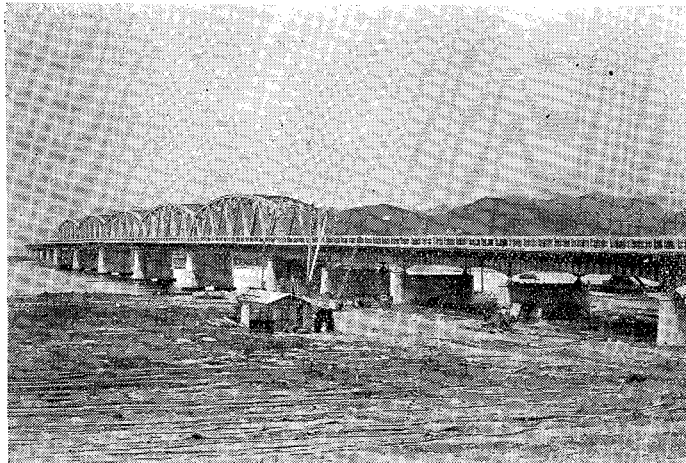
祝賀の此の日は幸に春日の空晴れ渡つて、朝早くから打

主は官幣大社日前國懸兩神宮々司であり、高西大阪土木出

上げた威勢のよい花火に誘ひ出された群集は實に數萬に達した渡初めは前例を破つて三夫婦でなく小學校生徒代表男女六名によつて先頭を切り、前途を祝福されたのも一段と意義を深めた。齋



昭和十一年七月十五日良要司檢閱
北島橋(舊)



昭和十一年四月十四日良要司檢閱
北島橋(新)

張所長が祭主として執行され、内務大臣代理として武若事務官が臨席された。北島橋の設計概要及此の日の祝辭は次の通りである

設計概要

架橋道路 國道十六號線

橋格 二等橋

橋種 ワーレン式鋼構桁

ゲルバー式鋼鈹桁

橋長 六一・九米 (鈹桁) 三〇・七・九米 (構桁) 三一・〇米

徑間 構桁 六〇・五米 五連
鈹桁 (二〇・五米) (二七・〇米) 一〇連

幅員 歩道 一・八五米

車道 (鈹桁) 七・三米 (構桁) 六・〇米

床版 鐵筋混凝土 厚一六糎

鋪裝 アスファルトブロック

高欄 人造石

總工費 七〇八、〇〇〇圓 坪當り一〇四圓

橋臺 二基 一四、一四〇圓

橋脚 一六基 一二〇、三六〇圓

鋼鈹桁 七二六匁 一三〇、〇〇〇圓

鋼構桁 一、一六〇 二三九、〇〇〇圓

床版 七、三二三坪 四四、五四〇圓

塗裝 三七、二〇〇〃 一四、三二〇圓

鋪裝 六、六一四〃 一七、四六〇圓

高欄 一、二四〇米 三九、〇四〇圓

附帶工事 一九、〇七〇圓

機械器具費雜費其他 七〇、〇七〇圓

式辭

北島橋改築工事成り本日開通ノ式典ヲ舉行スルニ方リ多數
諸賢ノ御來臨ヲ辱フシタルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ。願フ
ニ輓近和歌山縣下ニ於ケル各種産業ノ著シキ勃興ニ伴ヒ京
阪神トノ交通交易ハ夙ニ進展セルモノアリト雖モ之ヲ連繫
スル十六號國道ハ路幅狹隘ニシテ屈曲多ク交通上ノ障礙尠
カラス爲ニ沿道人士ノ間ニ之ヲ改修ノ要望ヲ稱ヘラル、事
切ナリ政府亦之ヲ認メ改修ノ工ヲ起シ着々其ノ進捗ヲ見ル
ニ至レリ然ルニ和歌山市ノ咽喉ヲ扼スル北島橋ハ本縣下第

内務省大阪土木出張所長 高西敬義

告辭

一ノ交通量ヲ有スル重要橋梁ナルニモ不拘幅員僅カニ三・九米橋齡既ニ二十有餘年ヲ閱シタル木橋ニシテ腐損甚シク危険極リナキノ状態ナルカ故ニ國道幹線ノ着工ヲ見タル曠依然之ヲ舊態ノ儘ニ存置センカ隔靴搔痒ノ怨アリトシ之カ改築ノ急ヲ叫ハレシハ誠ニ宜ナリ當局亦之ヲ諒シ昭和八年七月工ヲ興シ歲月ヲ經ルコト三星霜拮据經營克ク此工ヲ竣ヘタリ抑本橋ハ和歌山市ニ於テ紀ノ川ヲ東西ニ跨リ延長六百貳拾米有効幅員拾壹米ニシテ工費七拾萬八千圓其ノ構造ハ堅牢ナル鋼構及鋼钣桁橋ニシテ形態又清楚ナリ蓋シ和歌山市ノ偉觀タルヲ失ハス今ヤ本橋梁ノ完成ニヨリ交通上ノ利便ヲ増加シ軍事上ニ或ハ地方産業ノ開發ノ上ニ將又國運興隆ノ上ニ資スル所極メテ大ナルモアラントス茲ニ本

十六號國道北島橋改築功ヲ竣ヘ本日茲ニ竣功ノ式ヲ舉ク願レハ昭和八年政府之カ改築ノ工ヲ起セシ以來三年有餘和歌山縣官民協力ノ下ニ今茲ニ堅牢宏壯ナル新橋ノ完成ヲ見ル惟フニ今後之ニ依リテ交通更ニ一段ノ利便ヲ加ヘ地方ノ開發産業ノ進展ニ寄與スル所蓋シ尠少ナラサルモノアルヘシ冀クハ將來維持管理ニ力ヲ致シ以テ長ニ其ノ效果ヲ收メムコトヲ一言所懷ヲ述ヘテ告辭トス

昭和十一年五月十二日

内務大臣 潮 惠之輔

祝辭

工事完成ヲ見ルニ及ヒ地方官民諸士ノ多大ナル援助ト從業員諸氏ノ献身ノ努力ニ俟ツモノ極メテ大ナルヲ覺エ感謝措ク能ハサル所ナリ冀クハ將來維持管理宜シキヲ得長ヘニ其ノ効果ヲ收メラレンコトヲ一言述ヘテ式辭トス

國道十六號北島橋改築工事竣工ヲ告ケ本日茲ニ渡初ノ式典ヲ舉行セラル、ハ海ニ欣快トスル所ナリ

抑々本橋ハ紀ノ川ノ下流ニ架セラレ和歌山市ノ咽喉ヲ扼シ大阪府下ニ通スル隨一ノ要衝ニ當リ往來頻繁ヲ極メ人馬絡繹トシテ常ニ其ノ影ヲ絶タス然レトモ橋齡既ニ十八歳ヲ過

昭和十一年五月十二日

キ且ツ幅員狹隘構造亦脆弱ニシテ到底現時ノ交通ニ適セス
之カ改築ハ一日モ忽諸ニ付スヘカラサルモノアリ、茲ニ於
テ縣ハ去ル昭和五年末之カ改築ノ計畫ヲ樹立シ次テ同八年
之ヲ國道橋トシテ内務大臣直轄ノ下ニ工事ヲ施行スルコト
、ナリ、爾來着々其工程ヲ進メ今ヤ新橋ノ完成ヲ見ルニ至
ル、就テ之ヲ見ルニ其ノ構造ノ堅牢ニシテ規模ノ宏壯ナル
蓋シ縣下ニ冠タルト云フヘク、之レ即チ内務當局各位ノ深
甚ナル援助ト工事關係者ノ拮据經營其ノ宜シキヲ得タルノ
然ラシムル所ニシテ洵ニ感謝措ク能ハサル所ナリ、
惟フニ本橋ノ完成ハ近ク竣工ヲ見ルヘキ和歌山港ノ修築並
ニ都市計畫道路ノ改築ト相俟ツテ益々本國道ノ効果ヲ發揚
セシメ交通運輸及地方産業開發ニ裨益スル所蓋シ鮮少ナラ
サルヘシ、冀クハ關係地方民諸氏協力一致本橋ノ利用厚生
ノ實ヲ擧ゲ更ニ進ンテ關係全路線ノ改築工事ヲ進メ仍テ以
テ國道ノ進展ニ寄與セラレンコトヲ一言以テ祝辭トス

昭和十一年五月十二日

和歌山縣知事 吉 永 時 次

北島橋架換工事の概要

國道十六號線(東京より大阪堺を經由する乙線)即ち和歌
山國道は和歌山縣海草郡貴志村大阪府界孝子峠から同郡野
崎村紀ノ川右岸舊堤に至る間を昭和六年度失業救濟事業と
して曩に國に於て直營改良せられたるも對岸和歌山市との
間紀ノ川に架せる北島橋は同市の北支關とも稱すべき要衝
の地を占め縣下第一の長橋にして最高の交通量を有すと雖
も木造にして有効幅員三・九〇米に過ぎず架設後約二十年
に垂んとし一般交通運輸の不便言語に絶するものあるのみ
ならず紀ノ川の洪水並に逐年激増しつゝある交通量に對し
ては到底耐え得べくもあらず、年々維持修繕に巨費を投じ
辛ふして餘喘を保ちつゝある状態にして之が架換は將に焦
眉の急なりとす、新橋の構造前記の如くにして新橋開通の
効果を擧ぐれば當に和歌山市に止まらず紀ノ川下流兩岸並
に近接町村の一般交通運輸に多大の利便を與へ地方産業の
進展に不盡の効果を齎すのみならず、特殊國道十三號線に
聯繫して軍事上にも新に重要な使命を帯ぶるに至れり、

更に翻て大阪國道方面を觀んか大阪府に於ても着々西進して改良を加へつゝあり其の縣境孝子峠まで達せらるゝ曉に想到せらるるに想到すれば多年熱望して已まざる京阪神地方との連絡は愈々至便となり時間は益々短縮せられ本線の交通量は將來漸増の一途を辿るべく新橋を中心とせる前記地域の亨くる恩恵は蓋し莫大なるものあるべし、尙又本橋と關聯する野崎村紀ノ川右岸舊堤から大阪府境孝子峠に至

る間は幅員二・七〇米勾配十二分ノ一屈曲半經七・〇〇米の如き難所點在して自動車運輸は勿論交通も亦著しく阻碍されたるを以て昭和六年度失業救濟事業として國直轄の下に工費二一六、六〇〇圓を以て延長約五、三五〇米を改良することとなり、昭和七年七月竣功したるものあるを以て本橋竣工と共に交通に資すに所少からざる次第なり。

京都觀月橋の竣功

京都府土木部

京都市七條通で國道第二號線と分岐し、奈良を経て和歌山市に至る第十五號國道路線を奈良に向つて迎り行き、伏見の東南桂川に至れば近代的モダン橋が新粧成りて文化的生活にふさわしき姿を呈してゐる、之れが觀月橋である。昔時は大友豊後守が邸に接しておこつたので豊後橋と呼ば

れたが舊稱は桂橋と稱せられた、明治六年一月架橋の時、觀月橋と改稱し明治四十一年八月に架換へたものである、其の工事概要をかゝれば左の如し。

工 事 概 要